F1 Flexible Array Loudspeaker System

F1 Model 812 and F1 Subwoofer

オーナーズガイド
Owner's Guide

BOSE PROFESSIONAL
pro.Bose.com

安全上の留意項目

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。

0-3

のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

注意:

- 本製品は保護アース接続済みの電源コンセントに接続する必要があります。
- 許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。

注:

- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は、屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。

この製品は、該当するすべてのEU指令要件に適合しています。Declaration of Conformityの全文は、www.Bose.com/complianceでご覧いただけます。

この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、あるいは本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

注: この製品はテスト済みで、FCC規制第15条によるクラスAデジタルデバイスの制限に従っていることがわかっています。これらの制限は、機器が商用環境で動作したときに有害な干渉に対してしかるべき保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、放出し、マニュアルの指示どおりに設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を与えることがあります。住宅地域にて本機器を操作すると、有害 な電 波障害が生じる可能性があり、その場合には、ユーザが自己負担にて電波障害を補正 する必要があります。

本クラスAデジタル製品はカナダICES-003に適合しています。

製造者が承認していない変更や修正を行った場合、ユーザーの本機器使用の権限を無効とすることがあります。

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意事項に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造者の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広くなっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の端子および接地極付きプラグのアース棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気工事業者などにご相談ください。
10. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
11. 必ず製造者により指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
12. 製造元の指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台以外の使用は避けてください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないよう十分注意してください。
13. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
14. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

日本のみ:

メインプラグを主電源に接続する前に、アース接続を行ってください。

フィンランド、ノルウェー、およびスウェーデン:

- フィンランド語: “Laite on liitettävä suojamaadoituskoskettimilla varustettuun pistorasiaan”
- ノルウェー語: “Apparatet må tilkoples jordet stikkontakt”
- スウェーデン語: “Apparaten skall anslutas till jordat uttag”

中国のみ:

注意: 海抜2000m未満の地域での使用にのみ適しています。

製品情報の控え

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。シリアル番号は背面パネルに記載されています。

F1 Model 812 Loudspeaker _____

F1 Subwoofer_____

購入日 _____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

はじめに

製品の説明 4
特長と利点 4
付属品の確認 4
F1 Model 812 Flexible Array Loudspeaker 5
F1 Subwoofer 5
フレキシブルアレイの使用 6
アレイの調節 6
4つのカバレージパターン 6
アプリケーション例 7

システムのセットアップ

F1 Model 812をF1 Subwooferと併用する 8
F1 Model 812を三脚スタンドで使用する 9

操作

F1 Model 812コントロールパネル 10
F1 Subwooferのコントロールパネル 11
システムの起動と終了の順序について 12
EQセレクタースイッチの設定 12
接続ソース 12
マイクを使用して「INPUT 1」（入力1）を設定する 12
ソースを使用して「INPUT 1」（入力1）を設定する 12
ソースを使用して「INPUT 2」（入力2）を設定する 12
接続シナリオ 13
フルバンド、ミキシングコンソールのステレオ出力をL／RのF1 Model 812 Loudspeakersに接続 13
フルバンド、ミキシングコンソールのステレオ出力を1本のF1 Subwooferと2本のF1 Model 812 Loudspeakersに接続 13
ミキシングコンソールのステレオ出力をF1 SubwooferとL／RのF1 Model 812 Loudspeakersに接続 14
フルバンド、ミキシングコンソールのステレオ出力を2本のF1 Subwooferと2本のF1 Model 812 Loudspeakersに接続 15
ステレオ入力をL／RのF1 SubwooferとF1 Model 812 Loudspeakersに接続 15
マイクをF1 Model 812 Loudspeaker「INPUT 1」（入力1）に接続 16
モバイルデバイスを単一のF1 Model 812 Loudspeakerに接続 16
モバイルデバイスをF1 Model 812 LoudspeakerとF1 Subwooferに接続 17
DJコンソールを2本のF1 Subwooferと2本のF1 Model 812 Loudspeakersに接続 17

お手入れについて

製品のお手入れについて 18
お手入れについて 18
保守サービスについて 18
故障かな?と思ったら 18
LEDインジケータ 19
保証 19
アクセサリー 19
仕様 20
物理的仕様 20
電気的仕様 20
入力／出力コネクター配線参照 20

はじめに

製品の説明

Bose® F1 Model 812 Flexible Array Loudspeakerは、垂直方向のカバレージをコントロールできる、業界初のパワードポータブルスピーカーです。スピーカーアレイを押し込む、または、引き出すことにより、「ストレート」、「C」、「J」または「リバースJ」のカバレージパターンに設定可能です。スピーカーアレイのポジションを変更すると、システムは自動的にEQを変更し、各カバレージパターンに合わせて音質を最適化します。フロア上でも、ステージ上でも、傾斜した席やバルコニー席に向かって演奏している場合でも、会場に対して最適なPAを実現します。

8つの高出力中高域ドライバーアレイと12インチウーファーを、一般的な2ウェイスピーカーより低い帯域でのクロスオーバーポイントで組み合わせ、高いSPL性能を実現しながら、従来のスピーカーでは得られないほどクリアなボーカルと中音域を届けます。

低域の再生能力向上のためのBose F1 Subwooferは、大出力の大型サブウーファーと同等の性能を、持ち運びや車への搬入も容易な小型デザインにまとめました。また、スピーカースタンドをサブウーファー本体に組み込んだため、取り出しやすく、セットアップも素早く簡単に行えます。スタンドには、ワイヤーをまとめておけるケーブルチャンネルも装備しています。

各1000ワットの高出力なスピーカーとサブウーファーは、ほぼすべての会場で迫力のサウンドを実現します。

また、持ち運びも容易です。軽量、耐衝撃設計のスピーカーとサブウーファーは、運搬しやすさを考慮したハンドルを備えています。

F1 Model 812 Loudspeakerなら初めて、カバーしたい場所に集中的にサウンドを届けることが可能です。どんな場所でパフォーマンスを行おうと、最適なカバレージを提供します。

特長と利点

- フレキシブルな8つのスピーカーアレイを搭載したF1 Model 812では、4つのカバレージパターンから、1つのパターンを選択して聴衆の位置に直接サウンドを届けることで、会場全体にクリアなサウンドを実現します。
- 垂直方向に8つのドライバーを搭載したスピーカーアレイにより、ワイドで均一なサウンドカバレージを実現しており、スピーチ、音楽、楽器などに最適なクリアでバランスの良いサウンドを提供します。
- F1 Subwooferには、F1 Model 812専用の組み込み型スピーカースタンドが付属しており、従来のポールマウント型のスピーカースタンドが不要です。
- ユニークなスピーカーシステムでありながら、外観はがっちりとしたプロフェッショナル仕様のデザインです。
- 強力かつ軽量なバイアンプ設計により、広いダイナミックレンジと低発熱化を実現し、長時間にわたって安定した出力を提供します。

付属品の確認

各スピーカーには下記のアイテムが同梱されています。

F1 Model 812 Flexible Array Loudspeaker

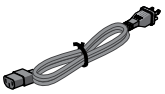
F1 Model 812 Loudspeaker

電源コード*

オーナーズガイド

F1 Subwoofer

組み込みスタンド付属F1 Subwoofer



電源コード*

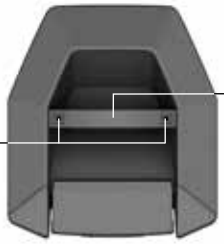
オーナーズガイド

*付属の電源コードは購入された国によって異なります。

F1 Model 812 Flexible Array Loudspeaker

注: F1 Model 812には、ブラケットアクセサリー用のねじ式M8インサートを装備しています。

注意: スピーカーを天井や壁など上部に設置する場合は、適切なハードウェアの知識と安全な設置技術を持った専門の設置者が行う必要があります。



上面

前面

背面

F1 Subwoofer

上面

前面

背面

フレキシブルアレイの使用

アレイの上部と下部のポジションを変更することによってカバレージパターンを選択できます。アレイのポジションは磁石によって固定されます。また、その磁石は内部センサーのトリガーとなっており、アレイ形状に合ったEQを自動的に設定します。

アレイの調節

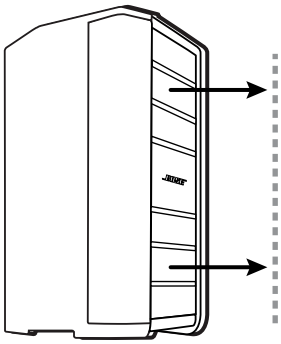
アレイを内側に押し込む

アレイを外側に引き出す

4つのカバレージパターン

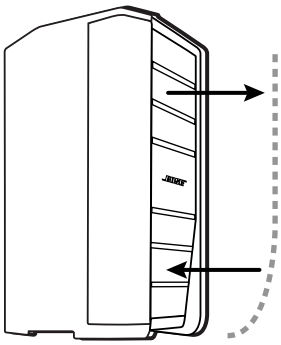
ストレートパターン

上部と下部のアレイを外側に引き出します



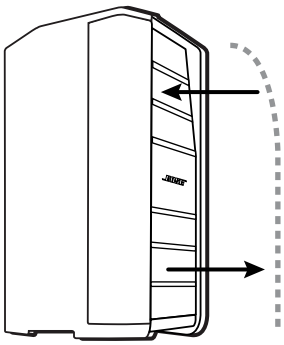
Jパターン

上部のアレイを外側に引き出し、下部のアレイを内側に押し込みます。



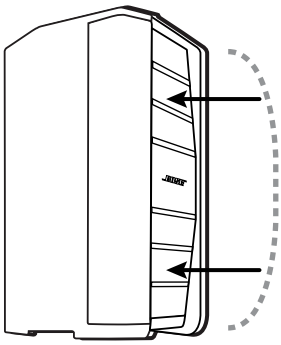
リバースJパターン

上部のアレイを内側に押し込み、下部のアレイを外側に引き出します。



Cパターン

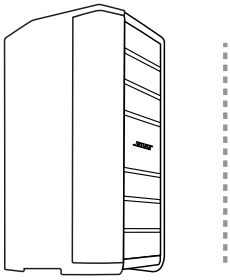
上部のアレイと下部のアレイを内側に押し込みます。

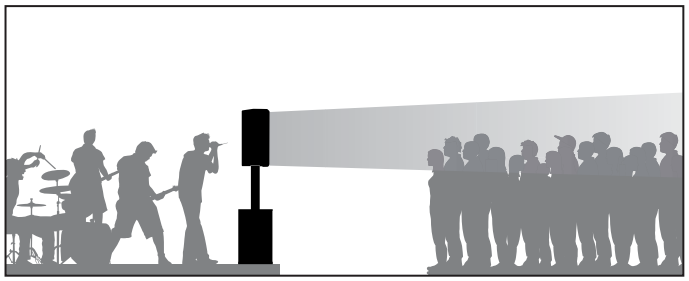


アプリケーション例

ストレートパターン

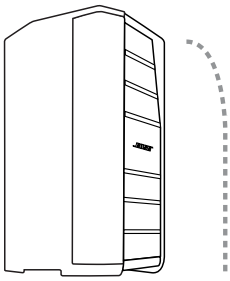
聴衆が立っていて、頭がスピーカーとほぼ同じ高さにある場合は、ストレートパターンを使用します。

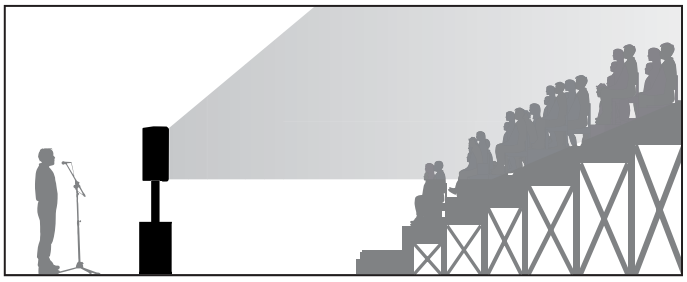




リバースJパターン

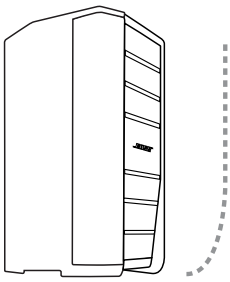
聴衆が、スピーカーの高さからスピーカーよりも上に広がる傾斜した席に座っている場合は、リバースJパターンが適しています。

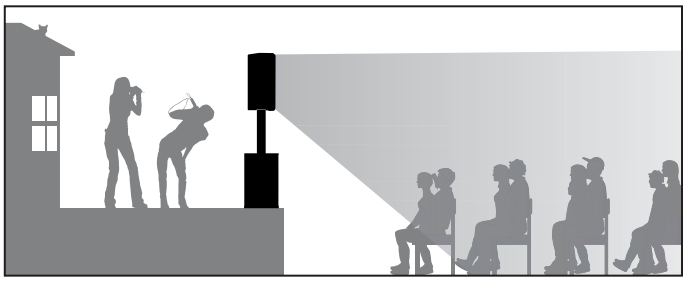




Jパターン

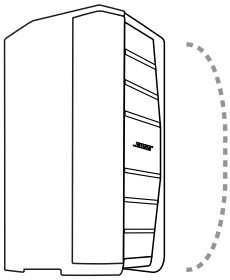
スピーカーがステージ上にあり、聴衆が下のフロアに座っている場合は、Jパターンが適しています。





Cパターン

ホールの席が上に傾斜し、その第一列がフロアにあり、スピーカーもそこにある場合は、Cパターンを使用します。



システムのセットアップ

F1 Model 812をF1 Subwooferと併用する

組み込み型のスピーカースタンドはサブウーファーの背面に保管されています。F1 Model 812 LoudspeakerとF1 Subwoofer-erのセットアップは簡単です:

1. F1 Subwooferの背面から組み込み型のスピーカースタンドを取り出し、スタンドスロットに挿入します。

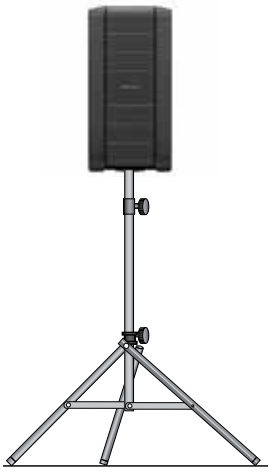
2. F1 Model 812 Loudspeakerを持ち上げ、スタンドに置きます。

3. オーディオケーブルを接続します。ケーブルがまとまるように、スピーカースタンドのチャンネルを通して、F1 Model 812からケーブルを送ります。

F1 Model 812を三脚スタンドで使用する

F1 Model 812 Loudspeakerの底面には、スピーカーを三脚スピーカースタンドに取り付けるためのポールカップがあります。ポールカップは、一般的な35 mm径に適合しています。

警告: F1 Model 812 Loudspeakerを不安定な三脚スタンドで使用しないでください。スピーカーは、35 mm径のポールでのみ使用するように設計されており、三脚スタンドは次の重量とサイズを支えられる必要があります: 最低重量: 20.2 Kg (44.5 lb)および全体サイズ: 665 mm (H) x 334 mm (W) x 373 mm (D)（26.1インチx 13.1インチx 14.6インチ）。F1 Model 812 Loudspeakerのサイズと重量を支えるように設計されていない三脚を使用すると、不安定で危険な状態となり、負傷につながる可能性があります。



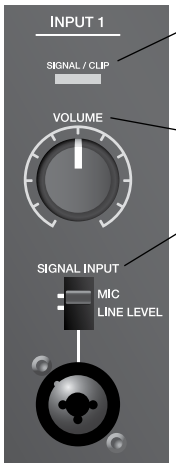
操作

F1 Model 812コントロールパネル

注: LEDの表示と動作の詳細については、19ページの「LEDインジケータ」をご覧ください。

「POWER」(電源):
AC電源オン／オフ

AC電源入力



「SIGNAL/CLIP」(シグナル／クリップ): 入力信号の状態を色で表示します。

- 緑 = 信号あり。
- 赤 = 信号にクリッピングが発生、入力信号が過大。

「VOLUME」(音量): チャンネルごとに音量を調節します。

「SIGNAL INPUT」(入力信号): セレクタースイッチで入力信号のタイプに従った入力感度の設定をします。コンボコネクターには、XLRコネクターまたは¼インチ標準フォーンコネクター(TRSバランスケーブルまたはTSアンバランスケーブル)を接続できます。

- **「MIC」(マイク)**:マイクレベル用の入力感度です(ダイナミックマイクと電源内蔵型マイクのみ)– マイクを直接接続する場合にのみ使用します。
- **「LINE」(ライン)** ミキシングコンソールやDJコントローラーなどライン入力レベル用の入力感度です。

「SIGNAL/CLIP」(シグナル／クリップ): 入力信号の状態を色で表示します。

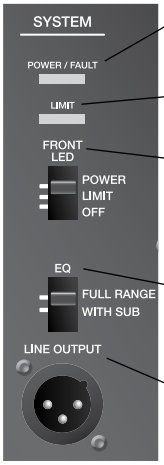
- 緑 = 信号あり。
- 赤 = 信号にクリッピングが発生、信号が過大。

「VOLUME」(音量): チャンネルごとに音量を調節します。

「RCA connectors」(RCAコネクター): DJコントローラーやその他ラインレベルのオーディオソース用のアナログステレオ入力。左右のチャンネルをモノミックスして出力します。また、「LINE OUTPUT (XLR)」(ライン出力(XLR))へモノラルオーディオ信号を出力します。

- 左(白)
- 右(赤)

¼インチ 標準フォーンコネクター: ギターやその他の楽器／入力ソース用のアナログ入力。TRSバランスケーブルまたはTSアンバランスケーブルが接続できます。



「POWER/FAULT」(電源／エラー):

- 青 = 電源オン。
- 赤 = エラー状態。

「LIMIT」(リミット):

- 黄 = システムリミット状態(保護モード)。

「FRONT LED」(前面LED):

- 「**POWER**」(**電源**)前面LEDに電源の状態を表示します。
- 「**LIMIT**」(**リミット**)前面LEDにリミットの状態を表示します。
- 「**OFF**」(**オフ**)前面LEDをオフにします。

EQ: (EQセレクタースイッチの設定EQセレクタースイッチの設定1212をご覧ください)

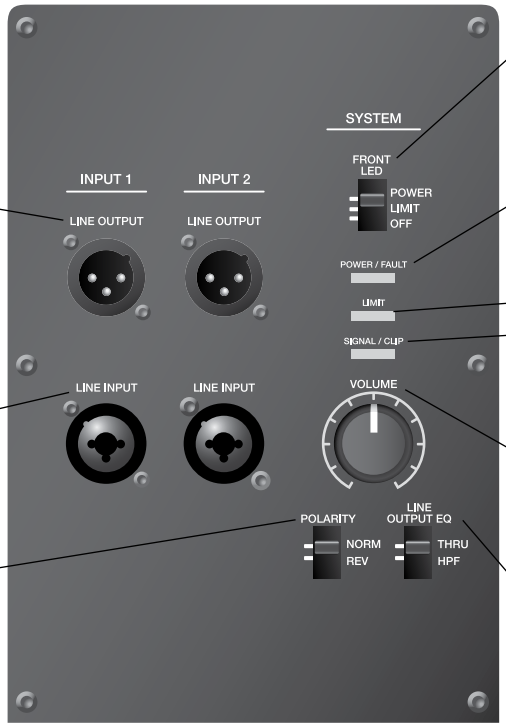
- 「**FULL RANGE**」(**フルレンジ**)スピーカーはハイパスフィルターなしで動作します。
- 「**WITH SUB**」(**サブウーファー使用**)ハイパスフィルター(100 Hz)が機能します。F1 Subwooferと併用する場合に推奨されます。

「LINE OUTPUT」(ライン出力):

- XLRバランスライン出力は、INPUT 1および2のVOLUME調節後のミックス信号を出力します。デイジーチェーンで接続したスピーカーにライン信号を送ることなどに使用できます。

F1 Subwooferのコントロールパネル

注: LEDの表示と動作の詳細については、19ページの「LEDインジケータ」をご覧ください。



「LINE OUTPUT 1 & 2」(ライン出力1&2):
パワードスピーカーや追加のサブウーファーに送ることのできるバランスライン出力信号(プリ信号)を提供する個別の出力です。

注:「LINE OUTPUT EQ」セレクタースイッチが、「THRU」に設定されている場合は、「LINE OUTPUT」の出力信号はフルレンジになります。

「LINE INPUT 1 & 2」(ライン入力1&2):
コンボコネクターには、XLRコネクターまたは¼インチ標準フォーンコネクター(TRSバランスまたはTSアンバランス)を接続できます。

「POLARITY」(極性):

- **「NORM」(ノーマル)** F1 Model 812スピーカーを付属のスタンドにマウントする場合に使用します。
- **「REV」(リバース)** サブウーファーをF1 Model 812スピーカーから離れた場所に設置する場合などに、極性を切り替えられます。

「FRONT LED」(前面LED) セレクタースイッチ:

- **「POWER」(電源)** LEDで電源の状態を表示します。
- **「LIMIT」(リミット)** LEDでリミットの状態を表示します。
- **「OFF」(オフ)** LEDをオフにします。

「POWER/FAULT」(電源/エラー): 電源/エラーの状態を表示します

- 青 = 電源オン。
- 赤 = エラー状態。

「LIMIT」(リミット): 黄 = システムリミット状態。

「SIGNAL/CLIP」(シグナル/クリップ): 入力信号の状態を色で表示します。

- 緑 = 信号あり。
- 赤 = 信号にクリッピングが発生、入力信号が過大です。

「VOLUME」(音量) – サブウーファーの音量を調節します。中央のデテント位置は0 dBです – F1 Model 812とF1 Subwooferをミキシングコンソールに接続する場合の基本位置です。ラインレベルの信号入力には、0 dB位置を使用してください。

「LINE OUTPUT EQ」(ライン出力EQ): (12ページの「EQセレクタースイッチの設定」をご覧ください)

- **「THRU」(スルー)** 入力信号をフィルタリングなしで出力に渡します。F1 Model 812を使用する場合に推奨。
- **「HPF」**入力信号にハイパス(100 Hz)フィルターを通して出力します。「LINE OUTPUT」の出力信号にのみ影響します。

AC入力コネクター

「POWER」(電源)
オン/オフスイッチ

操作

システムの起動と終了の順序について

システムに電源を入れる場合は、まず入力ソースとミキシングコンソールの電源を入れ、次にF1 Model 812 LoudspeakerとF1 Subwooferの電源を入れます。システムの電源を切る場合は、F1 Model 812とF1 Subwooferの電源を切ってから、入力ソースとミキシングコンソールの電源を切ります。

EQセレクタースイッチの設定

F1 Model 812 LoudspeakerとF1 SubwooferのEQセレクタースイッチの推奨設定を次の表に示します。

システム設定	F1 Model 812 EQスイッチ	F1 Subwoofer ライン出力EQスイッチ
F1 Model 812 Loudspeakerのみで使用する場合（F1 Subwooferなし）	「FULL RANGE」	該当なし
F1 SubwooferからF1 Model 812 Loudspeakerへ接続する場合 （入力ソース → F1 Subwoofer →F1 Model 812 Loudspeaker）	「WITH SUB」*	「THRU」（スルー）
F1 Model 812 LoudspeakerからF1 Subwooferへ接続する場合 （入力ソース → F1 Model 812 Loudspeaker → F1 Subwoofer）	「WITH SUB」*	影響なし

*より低域をブーストしたい場合は「FULL RANGE」も使用可能です。

接続ソース

入力ソースに接続する前に、チャンネルの「VOLUME」（音量）コントロールを反時計回りに一杯まで回します。

2つの独立した入力は、マイクとラインレベルのソースの入力接続に対応しています。

注: 「INPUT 1」（入力1）には、ダイナミックマイクと電源内蔵型マイクのみが使用できます。

「INPUT 1」（入力1）にマイクを接続する

1. 「INPUT 1」の「 VOLUME」を反時計回りに一杯まで回します。
2. 「SIGNAL INPUT」を「MIC」に切り替えます。
3. マイクケーブルを「INPUT 1」のコネクターに接続します。
4. 「VOLUME」を任意のレベルに調節します。

「INPUT 1」（入力1）に入力ソースを接続する

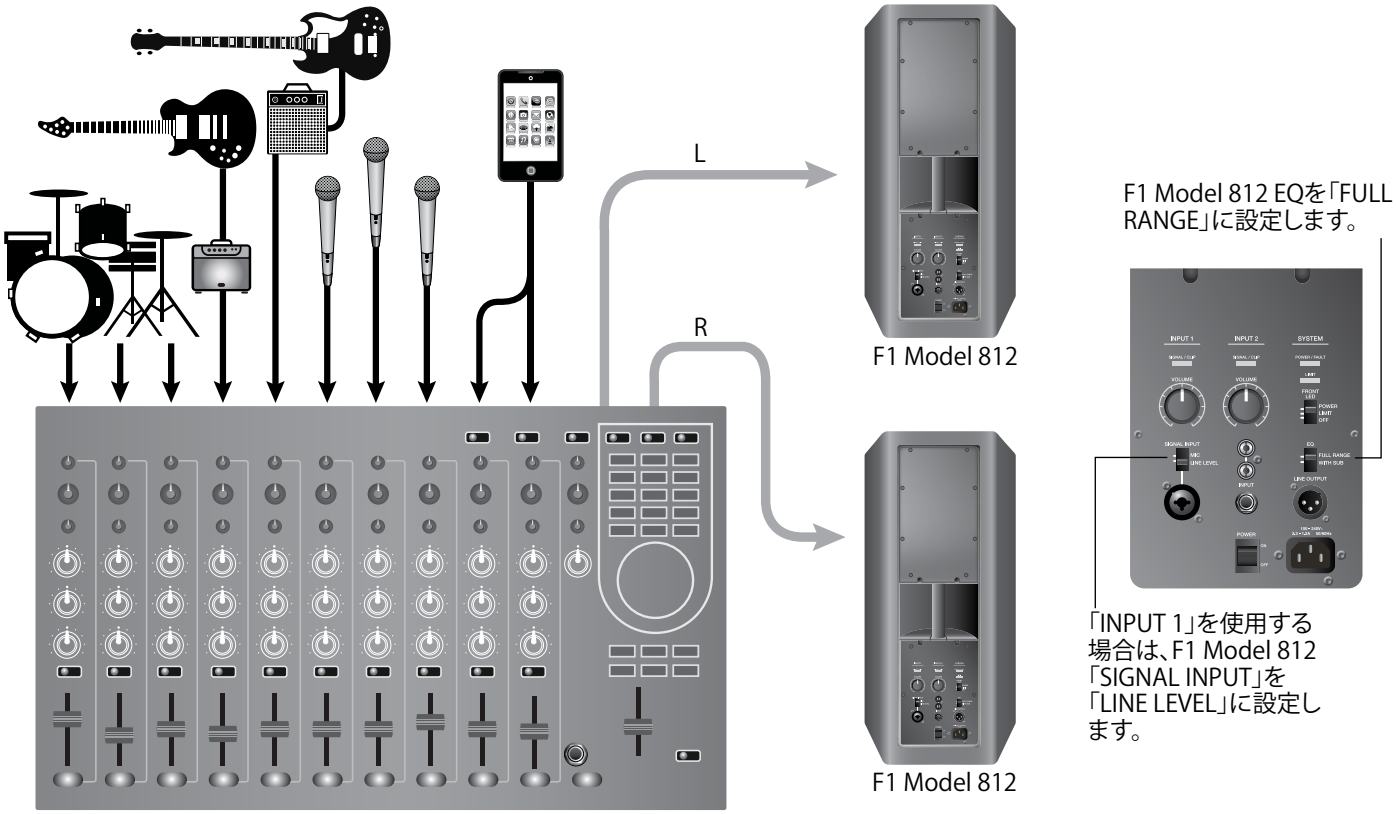
1. 「INPUT 1」の「 VOLUME」を反時計回りに一杯まで回します。
2. 「SIGNAL INPUT」を「LINE LEVEL」に切り替えます。
3. 入力ソース側からのケーブルを「INPUT 1」のコネクターに接続します。
4. 「VOLUME」を任意のレベルに調節します。

「INPUT 2」（入力2）に入力ソースを接続する

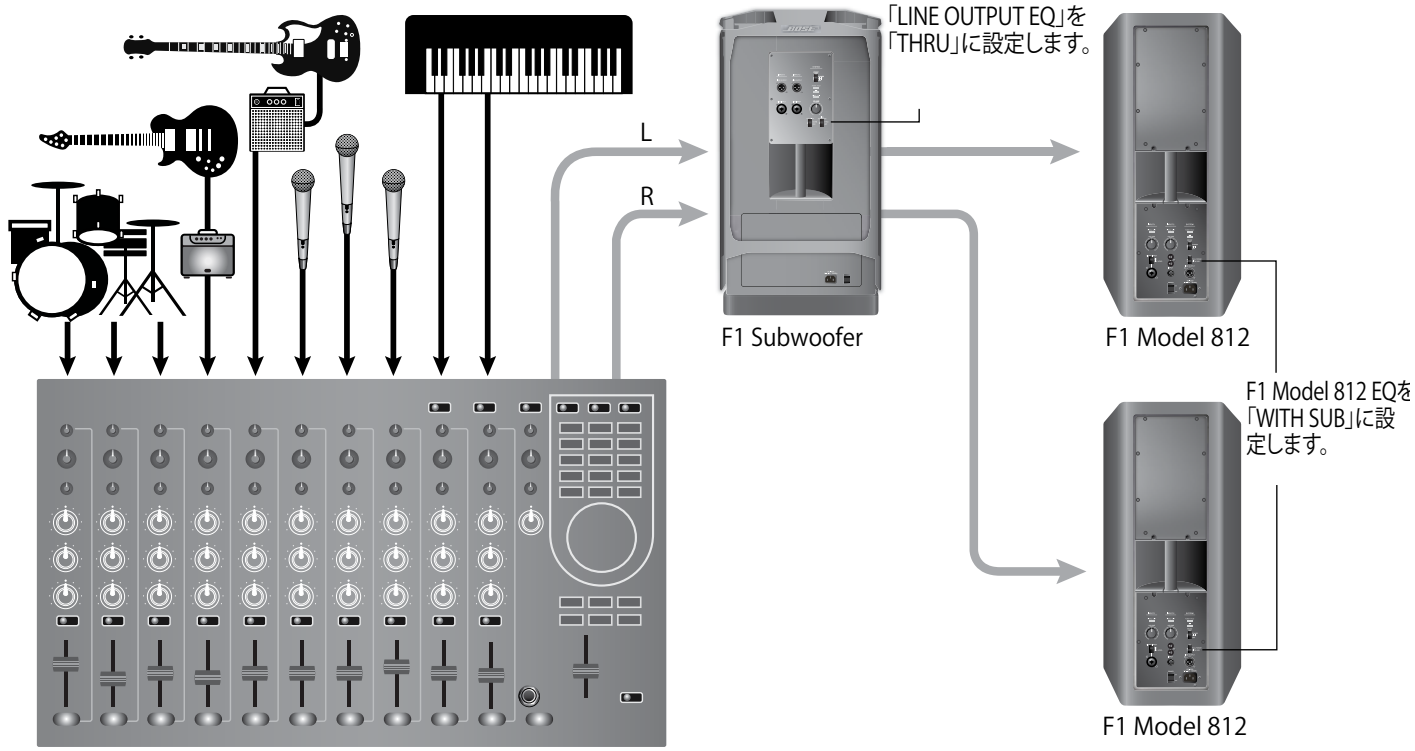
1. 入力2の音量を反時計回りに一杯まで回します。
2. 入力ソース側からのケーブルを「INPUT 2」コネクターに接続します。
3. 「VOLUME」を任意のレベルに調節します。

接続シナリオ

フルバンド、ミキシングコンソールのステレオ出力をL／RのF1 Model 812 Loudspeakersに接続

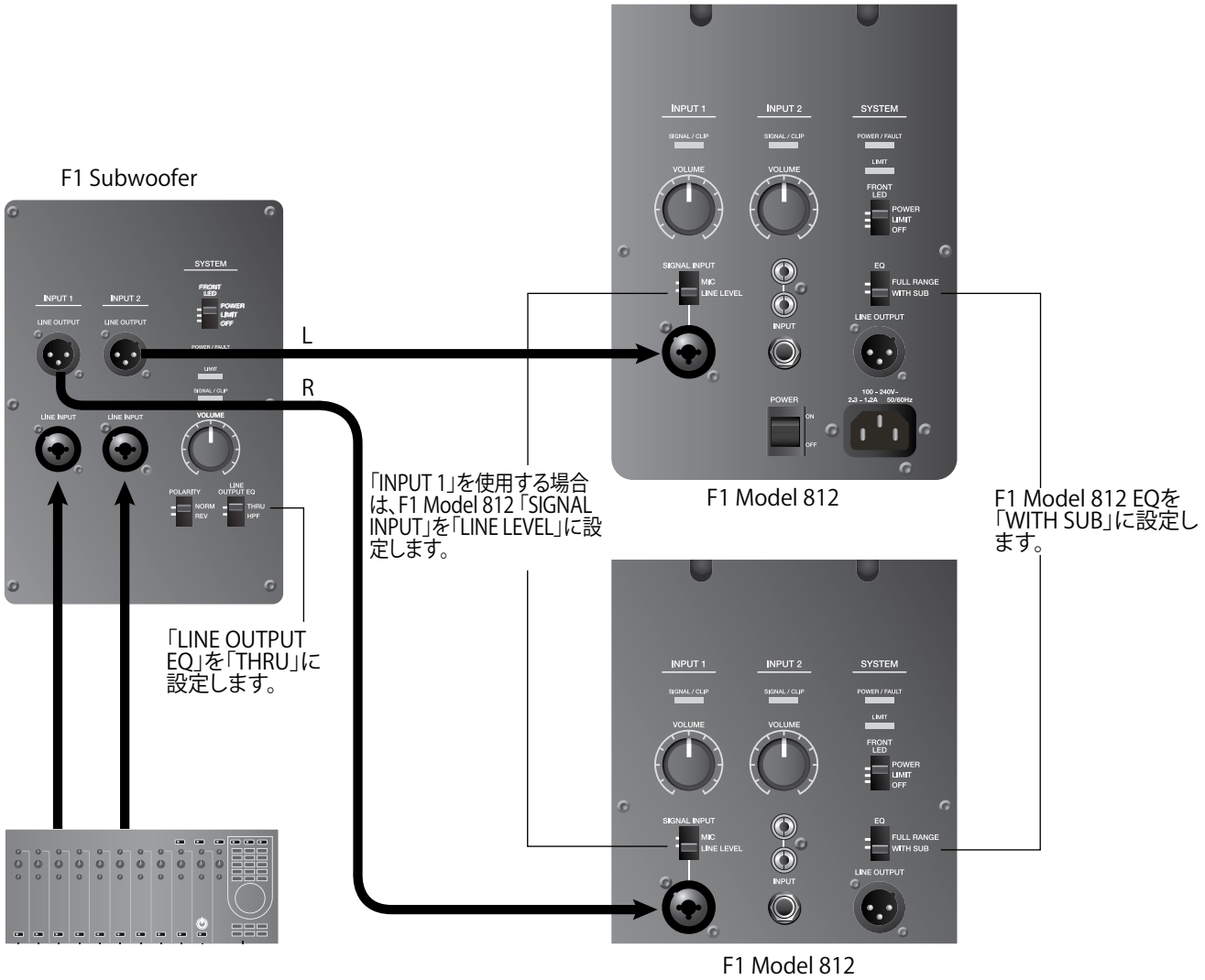


フルバンド、ミキシングコンソールのステレオ出力を1本のF1 Subwooferと2本のF1 Model 812 Loudspeakersに接続する。

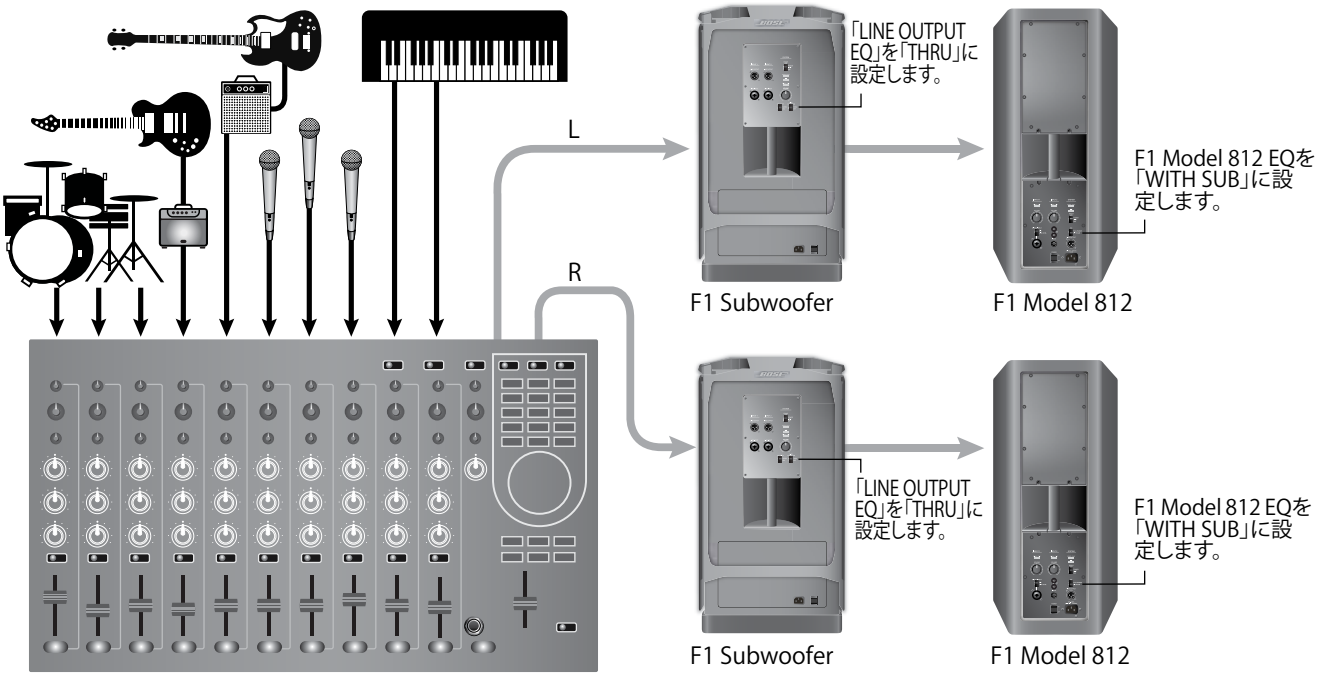


ミキシングコンソールのステレオ出力をF1 SubwooferとL／RのF1 Model 812 Loudspeakersに接続

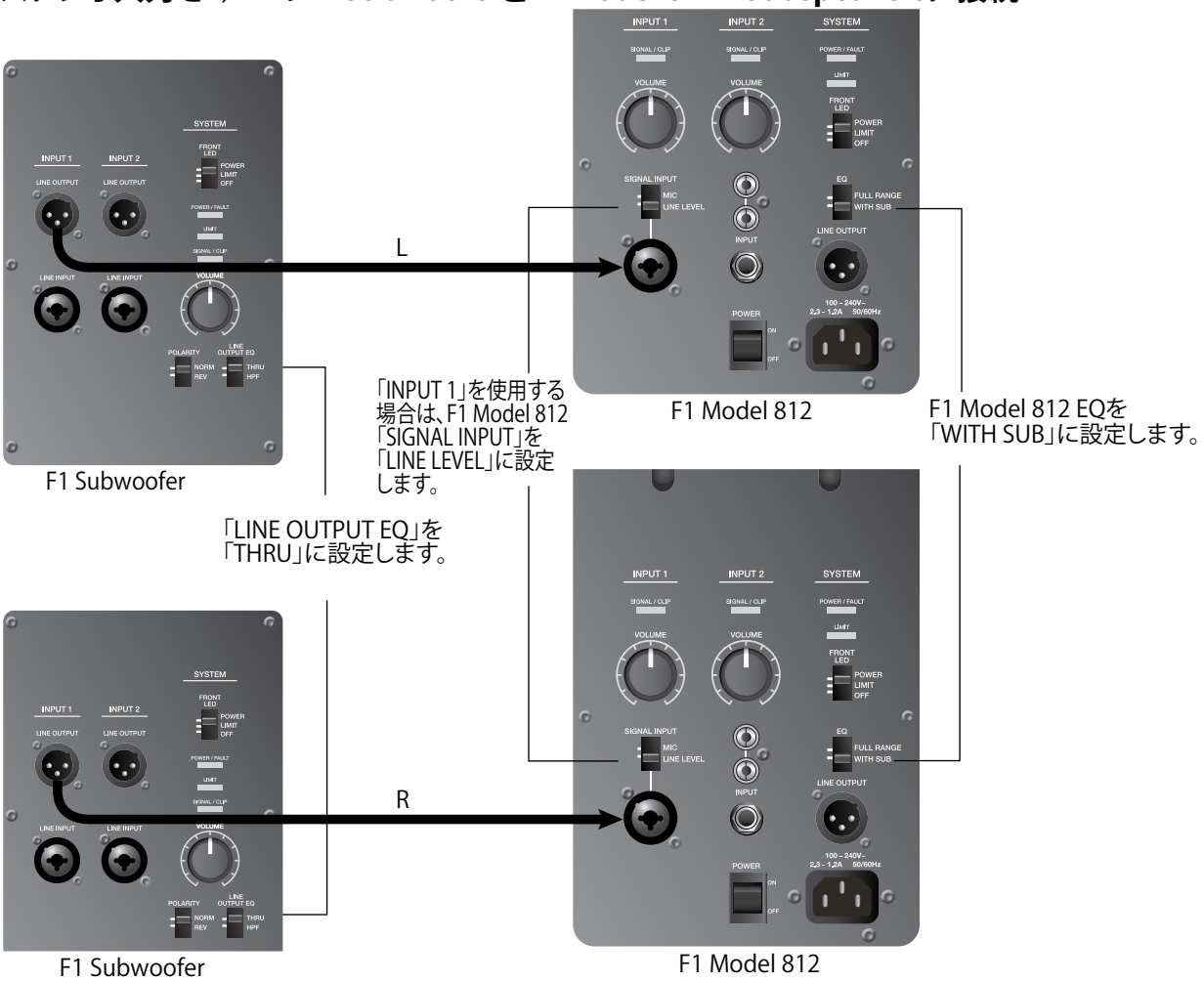
注: 推奨されるEQ設定は、12ページの「EQセレクタースイッチの設定」をご覧ください。ただし、より低域をブーストしたい場合には、両方のF1 Model 812 LoudspeakersのEQセレクタースイッチを「FULL RANGE」、F1 SubwooferのEQセレクタースイッチを「THRU」に設定することもできます。



フルバンド、ミキシングコンソールのステレオ出力を2本のF1 Subwooferと2本のF1 Model 812 Loudspeakersに接続

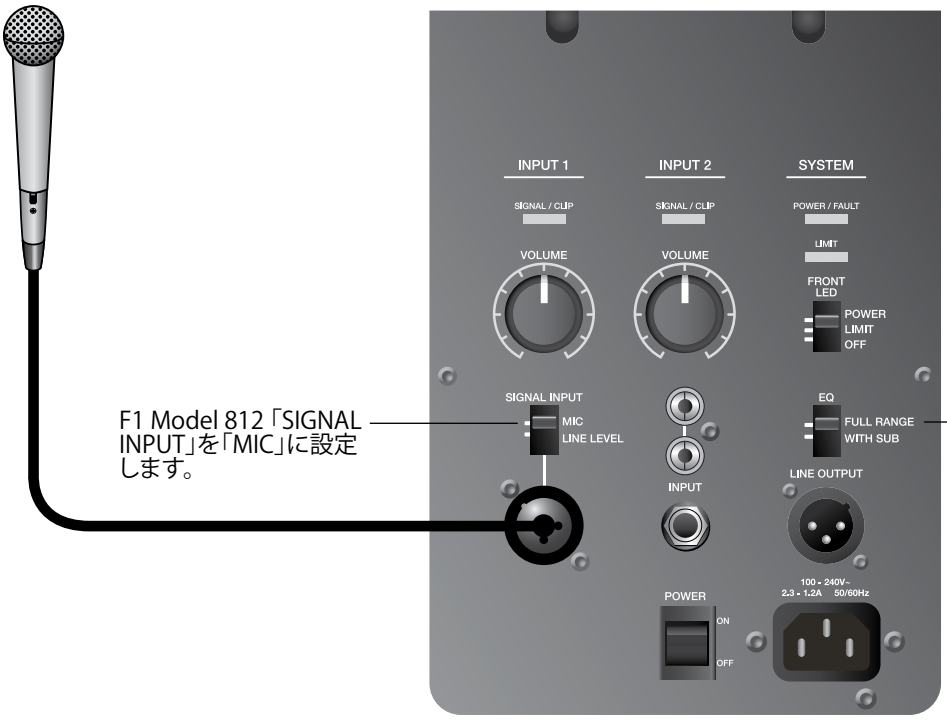


ステレオ入力をL／RのF1 SubwooferとF1 Model 812 Loudspeakersに接続



操作

マイクをF1 Model 812 Loudspeaker の「INPUT 1」に接続



F1 Model 812「SIGNAL INPUT」を「MIC」に設定します。

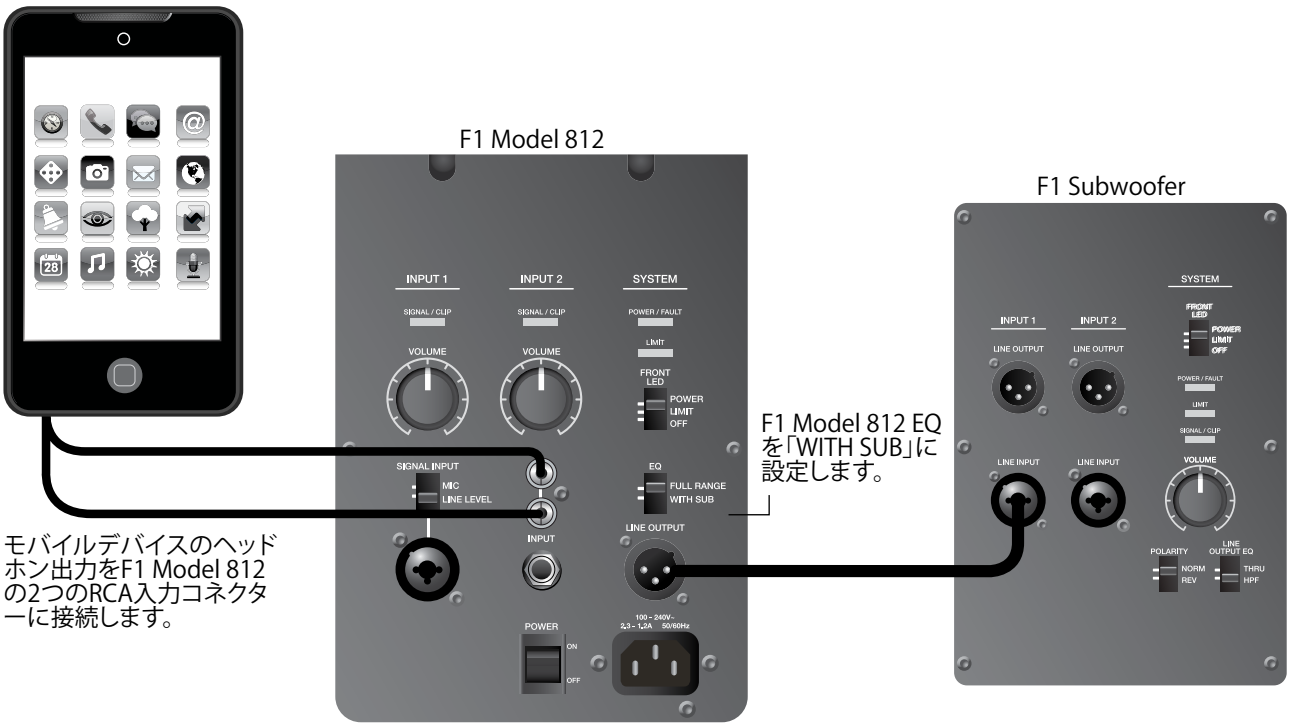
F1 Model 812 EQを「FULL RANGE」に設定します。

モバイルデバイスをF1 Model 812 Loudspeakerに接続

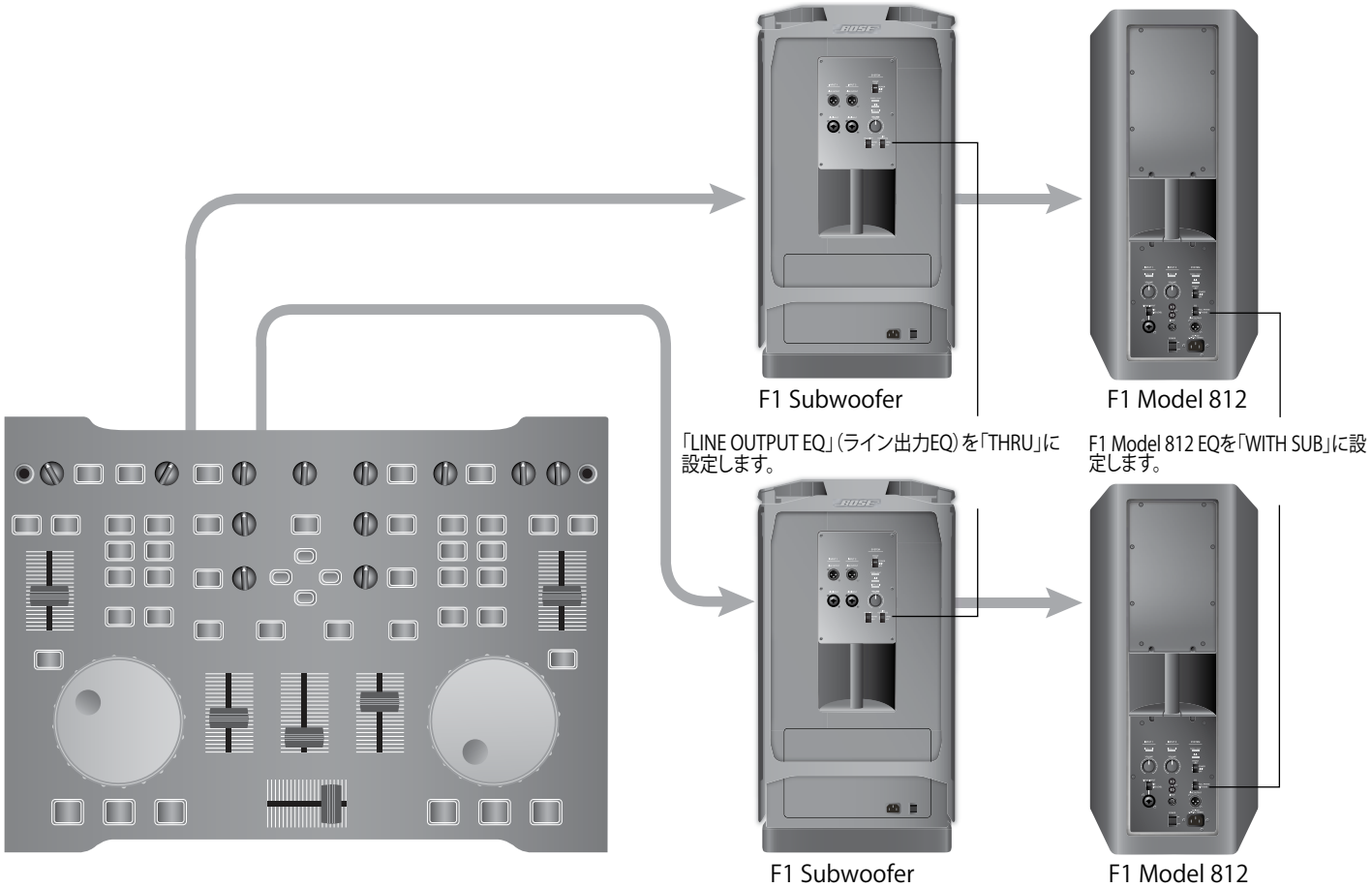
モバイルデバイスのヘッドホン出力をF1 Model 812の2つのRCA入力コネクターに接続します。

F1 Model 812 EQを「FULL RANGE」に設定します。

モバイルデバイスをF1 Model 812 LoudspeakerとF1 Subwooferに接続



DJミキサーを2本のF1 Subwooferと2本のF1 Model 812 Loudspeakersに接続



お手入れについて

製品のお手入れについて

お手入れについて

- 必ず乾いた柔らかいクロス(布)を使用して、製品本体を拭いてください
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 製品の近くでスプレーを使用しないでください。また開口部に液体をこぼさないでください。
- 必要な場合は、スピーカーアレイのグリルを十分注意しながら掃除機で掃除してください。

保守サービスについて

故障、修理、製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　カスタマーサービス

お客様専用ナビダイヤル 0570-080-021

故障かな?と思ったら

本製品を使用中に問題が発生した場合は、次の解決策をお試しください。推奨されるトラブルシューティング用のツールには、交換用のAC電源コード、XLRおよび1/4インチ標準フォーンケーブルがあります。

トラブル	対処方法
スピーカーに電源コードが接続され、電源スイッチがオンですが、電源LEDがオフのままです。	• 電源コードが、F1 Model 812 LoudspeakerとACコンセントの両方にしっかり接続されていることを確認してください。 • ACコンセントから電源がとれているか、確認してください。同じACコンセントに接続されているランプや他の器具が動作するか試してください。 • 別の電源コードを試してください。
電源LEDはオン(緑)ですが、音が出ません。	• F1 Model 812 Loudspeakerの「VOLUME」が上がっている事を確認してください。 • 楽器の音量が上がっていることを確認してください。 • 楽器またはオーディオソースが適切な入力コネクターに接続されていることを確認してください。 • F1 Model 812 LoudspeakerがF1 Subwooferから入力を受け取っている場合は、サブウーファーの電源がオンになっていることを確認してください。
楽器またはオーディオソースの音が歪みます。	• 接続したオーディオソースの音量を下げてください。 • 外部ミキシングコンソールに接続されている場合は、ミキシングコンソール側の入力チャンネルで入力ゲインがクリッピングしていないことを確認してください。 • ミキシングコンソールの出力を下げてください。
マイクがハウリングを起こします。	• ミキシングコンソールの入力ゲインを下げてください。 • マイクの位置を唇に触れるくらい近づけてみてください。 • 別のマイクで試してみてください。 • ミキシングコンソールのトーンコントロールを使用して、問題を起こしている周波数を下げてください。 • スピーカーとマイクの距離を離してください。 • ボーカルのエフェクトプロセッサーを使用している場合は、それがハウリングに関係していないか、確認してください。
低域のレスポンスが弱いです	• F1 Subwooferを使用しないで、F1 Model 812 Loudspeakerを使用している場合は、EQスイッチを「FULL RANGE」に設定してください。 • F1 Subwooferと共にF1 Model 812 Loudspeakerを使用している場合は、「POLARITY」スイッチが「NORMAL」モードになっていることを確認してください。F1 SubwooferとF1 Model 812 Loudspeakerの位置がかなり離れている場合は、「POLARITY」スイッチを「REV 」にすると 低域が改善されることがあります。 • 2本のF1 Subwooferを使用している場合は、「POLARITY」スイッチがそれぞれのサブウーファーで同じ位置にあることを確認してください。

トラブル	対処方法
ひどいノイズまたはハムノイズが発生します。	• マイクをF1 Model 812 Loudspeakerに接続する際は、「INPUT 1」、「SIGNAL INPUT」スイッチを「MIC」に設定してください。 • すべてのシステムがしっかり接続されていることを確認してください。しっかりと接続されていないラインからノイズが出る場合があります。 • ミキシングコンソール、外部の入力ソース、F1 SubwooferからのLINE OUTPUTを使用している場合は、F1 Model 812 Loudspeakerの「INPUT 1」の「SIGNAL INPUT」セレクタースイッチを「LINE」に設定してください。 • 最適な結果を得るためには、システムへの入力にバランス（XLR）接続を使用してください。 • すべての音声ケーブルをAC電源コードから離してください。 • 調光器が、スピーカーシステムのハムノイズの原因となることがあります。これを避けるために、スピーカーシステムを調光器とは別の回路に接続してください。 • オーディオシステムの各機器をアースを共有する電源コンセントに接続してください。 • チャンネルミュートを使ってミキシングコンソールへの各入力ケーブルをチェックしてください。ハムノイズが消えるようなら、そのチャンネルのケーブルを交換してください。

LEDインジケータ

次の表では、F1 Model 812 LoudspeakerおよびF1 SubwooferのLEDの動作について説明しています。

タイプ	場所	カラー	動作	表示	必要なアクション
「Front LED 」（フロントLED）「Power」（電源）	フロントグリル	青	安定した状態	スピーカーはオン	なし
		青	点滅	リミッターがアクティブ、アンプ保護機能が作動	音量かソースの入力レベルを下げます
「SIGNAL/CLIP」（シグナル／クリップ）	「INPUT 1/2」（入力1／2）	緑（基本）	ちらつく／安定した状態	入力信号あり	好みのレベルに調節します
		赤	ちらつく／安定した状態	入力レベルが高すぎます	音量かソースの入力レベルを下げます
「POWER/FAULT」（電源／エラー）	リアパネル	青	安定した状態	スピーカーはオン	なし
		赤	安定した状態	アンプのサーマルシャットダウンがアクティブ	スピーカーをオフにします
「LIMIT」（リミット）	リアパネル	オレンジ	点滅／安定した状態	リミッターがアクティブ、アンプ保護機能が作動	音量かソースの入力レベルを下げます

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

アクセサリー

本製品用の壁付けや天井吊り用ブラケット、キャリーバッグやカバー等のアクセサリーが用意されています。

お手入れについて

仕様

物理的仕様

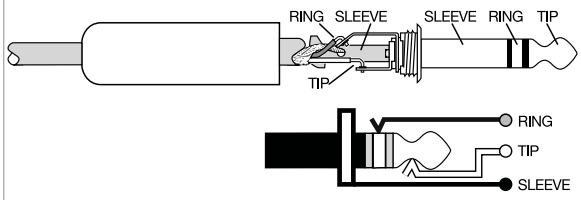
	外形寸法	質量(本体のみ)
F1 Model 812 Loudspeaker	665 mm（H）x 334 mm（W） x 373 mm（D） （26.1インチx 13.1インチx 14.6インチ）	20.18 Kg (44.5 lb)
F1 Subwoofer	688 mm（H）x 410 mm（W）x 449 mm（D） （27.0インチx 16.1インチx 17.6インチ）	24.95 Kg (55.0 lb)
F1 Model 812 & F1 Subwoofer 組み込み型スタンドでの併用時	1868 mm（H）x 410 mm（W）x 449 mm（D） （73.5インチx 16.1インチx 17.6インチ）	45.13 Kg (99.5 lb)

電気的仕様

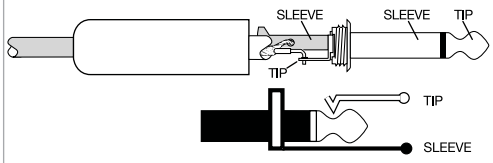
	AC電源定格	最大突入電流
F1 Model 812 Loudspeaker	100–240V∿ 2.3–1.2A 50/60Hz	120 V RMS: 6.3 A RMS 230 V RMS: 4.6 A RMS
F1 Subwoofer	100–240V∿ 2.3–1.2A 50/60Hz	120 V RMS: 6.3 A RMS 230 V RMS: 4.6 A RMS

入力／出力コネクター配線参照

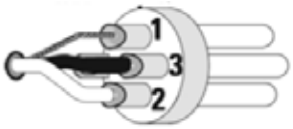
TRSバランス



TSアンバランス

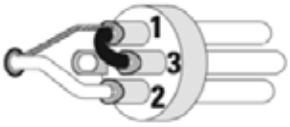


XLRバランス



1 – シールド（グラウンド）
3 – マイナス（–）
2 – プラス（+）

XLRアンバランス



1 – シールド（グラウンド）
3 – マイナス（–）
2 – プラス（+）

次のウェブサイトにアクセスしてください。**pro.Bose.com**

南北アメリカ
（米国、カナダ、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ）
Bose Corporation
The Mountain
Framingham, MA 01701 USA
Corporate Center: 508-879-7330
Americas Professional Systems,
Technical Support: 800-994-2673

オーストラリア
Bose Pty Limited
Unit 3/2 Holker Street
Newington NSW Australia
61 2 8737 9999

ベルギー
Bose N.V. / S.A
Limesweg 2, 03700
Tongeren, Belgium
012-390800

中国
Bose Electronics (Shanghai) Co Ltd
25F, L'Avenue
99 Xianxia Road
Shanghai, P.R.C. 200051 China
86 21 6010 3800

フランス
Bose S.A.S
12 rue de Temara
78100 St. Germain en Laye, France
01-30-61-63-63

ドイツ
Bose GmbH
Max-Planck Strasse 36D 61381
Friedrichsdorf, Deutschland
06172-7104-0

香港
Bose Limited
Suites 2101-2105, Tower One, Times Square
1 Matheson Street, Causeway Bay, Hong Kong
852 2123 9000

インド
Bose Corporation India Private Limited
Salcon Aurum, 3rd Floor
Plot No. 4, Jasola District Centre
New Delhi – 110025, India
91 11 43080200

イタリア
Bose SpA
Centro Leoni A – Via G. Spadolini
5 20122 Milano, Italy
39-02-36704500

日本
ボーズ合同会社
〒106-0032 東京都港区六本木1-4-5
アークヒルズサウスタワー13F

電話: 0570-080-021
www.bose.co.jp

オランダ
Bose BV
Nijverheidstraat 8 1135 GE
Edam, Nederland
0299-390139

英国
Bose Ltd
1 Ambley Green, Gillingham Business Park KENT
ME8 0NJ
Gillingham, England
0870-741-4500

その他の国については、ウェブサイトをご覧ください

ボーズ合同会社 http://www.bose.co.jp/

Better sound through research®

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1559-B
19・03 (B)